

第4節 安全で持続可能なまちづくり (環境・インフラ・安全・生活)

将来にわたって持続可能な社会を築き、住み続けられるまちづくりを進めます。人口減少・少子高齢化、交通事故や犯罪などの社会問題、地球温暖化・廃棄物などの環境問題、増加・激甚化する災害なども踏まえた政策や地域コミュニティを含めた体制作りをハード・ソフト面一体となって推進します。道路、上下水道、公共施設、廃棄物処理施設、情報通信基盤など人々の生活・生命の根幹にかかわるインフラの維持・整備を進めるとともに、その適切な在り方について検討を進めます。



防災訓練



リサイクルの推進



路線バス



高速道路整備

第1項 環境にやさしいまちづくりの推進

1. 再生可能エネルギー等の活用によるまちづくりの推進

【現状と課題・施策の基本的方向】


私たちが使う電気、ガス、ガソリンなどのエネルギーはそのほとんどが化石燃料に頼っている状況です。化石燃料の大量消費により、地球温暖化、資源枯渇など環境負荷はもちろん、エネルギーに関するお金は町外、国外にほとんど出ていってしまうことになります。

そこで、徹底した省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの最大限の活用により、2050年までに地球温暖化の主な原因となっている人為起源のCO₂排出の実質ゼロを目指すとともに、それらの取り組みを地域でお金が回る仕組みづくり、災害時のインフラ維持のための分散型エネルギーシステムの構築等、経済・社会面の課題の解決につなげていくような施策を進めていきます。

【施策の内容】

- ・家庭や事業所、地域への再生可能エネルギー等設備導入の取り組みを推進します。
- ・地域新電力⁴⁵、熱供給事業等、エネルギーの地産地消の仕組みづくりを行います。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
家庭用創エネ設備 ⁴⁶ 等設置件数	354件	500件	7, 11, 13 
公共施設の地域新電力（地域の再生可能エネルギーを活用）契約率	0%	100%	7, 11, 12, 13 

【みんなで取り組むこと】

- ・家庭や事業所、地域への再生可能エネルギー等設備を積極的に導入しましょう。
- ・地域新電力会社との契約等、エネルギーの地産地消に努めましょう。

⁴⁵ 地域新電力：地域密着型の電力会社で、大手電力会社とは別に新規に参入し、電気の小売を行う事業者のこと

⁴⁶ 家庭用創エネ設備：一般住宅でエネルギーを生み出す設備。太陽光発電システムや給湯システム等

2. 環境にやさしいライフスタイルへの転換

【現状と課題・施策の基本的方向】

地球温暖化をはじめとする様々な環境問題は、人が活動することによって引き起こされる問題であるとされており、環境への負荷を増加させるような社会経済活動は、身近な地域の自然環境や生活環境に大きな影響を及ぼし、私たちの健康や暮らしにも影響を与えかねません。

「便利な暮らし」と「環境にやさしい暮らし」の共生により、健康で快適な生活の実現に向けた提案や取り組みを進めていきます。

【施策の内容】

- ・断熱性能に優れた省エネ住宅の建築・改修の普及促進により、エネルギー消費を減らすとともに、健康で快適な住生活の実現に取り組みます。
- ・徒歩や自転車の利用を推進し、騒音や排気ガスによる環境への負荷を減らすとともに、渋滞緩和と健康増進を図ります。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
住宅省エネ改修戸数	149戸	400戸	11, 13  

【みんなで取り組むこと】

- ・断熱性能に優れた省エネ住宅の建築・改修に積極的に取り組みましょう。
- ・近距離移動での徒歩や自転車の利用や公共交通機関の利用に努めましょう。

3. ごみの減量化と適正処理の推進

【現状と課題・施策の基本的方向】



本町では、ごみの減量化、再資源化を図るために、家庭ごみについては15分別の収集を行っています。また、地域での再生資源回収の活動を通じて再資源化が進む一方、便利さを求めた使い捨て容器の普及等により、1人あたりのごみの排出量は年々増加傾向にあります。

そこで、再資源化だけでなく、その手前のごみの発生抑制や再利用に、町民、事業者、行政が一丸となって取り組み、ごみの減量化を図っていくことが必要です。

【施策の内容】

- ・ごみ処理にかかる費用、ごみの排出の現状や、分別による再資源化などの効果等をわかりやすく示しながら、ごみの減量に向けた意識啓発を図ります。
- ・不法投棄や違法な野焼きの防止に努めます。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
一人当たりのごみ排出量（事業系ごみ除く）	668g/人日	500g/人日	11, 12  

【みんなで取り組むこと】

- ・4R⁴⁷の取り組み方法、順番を理解し、ごみの減量化、再資源化に努めましょう。
- ・ポイ捨てをしない、させない環境づくりに努めましょう。

4つのRを意識して
日々の生活の中でできる身近なことからチャレンジしてみましよう！

Refuse(リフューズ) = 断る

- マイバッグ持参でノーレジ袋！
- 使い捨ての割り箸やおしぼりは断ろう
- フリーペーパーをもらわない



Reuse(リユース) = 使い続ける

- 詰め替え容器を活用しよう！
- フリーマーケットを活用しよう
- 役場の「ゆずります・ゆずってください」コーナーを活用しよう
- レンタル品を利用しよう
- 壊れたものは修理して使おう



Reduce(リデュース) = 減らす

- 簡易包装のものを選ぼう
- 食材は必要なものだけ買おう
- 食べ物は残さず食べよう！
- 生ごみは水分を切ってから捨てよう！



Recycle(リサイクル) = 再利用する

- リサイクルステーションを活用しよう！
- 子ども会などの再生資源回収事業を活用しよう！
- お菓子の空箱などの雑紙も再生資源に出そう
- 再生品を購入しよう



⁴⁷4R: リフューズ（断る）ごみになるものを家庭に持ち込まない。不必要なものは買わない、断る。リデュース（少なくする）ごみを減らす。ものを大事に使う。できるだけごみを出さない生活をする。リユース（再使用する）繰り返し使用する。修理して使う、人に譲る。リユースできるものを使う。リサイクル（再生利用する）なるべく捨てない。リサイクルできるものは分別する。リサイクル品を買って循環の輪をつなげる。

第2項 インフラの整備

1. 交通基盤の整備・維持管理

【現状と課題・施策の基本的方向】

生活道路については、道路や橋梁等の老朽化の進行により破損箇所が増加しており、施設の長寿命化を図る維持管理が必要となっています。また、道路が持つ防災や交通機能を確保するため、道路整備が必要となっており、広域的な交流促進のため、高速道路へのアクセス向上も求められています。

地域の公共交通については、町内には広域バス路線が3本（赤碓線、栄線、北条線）と乗りあいタクシー（高尾線）が運行されていますが、人口減少や少子高齢化等により、バス利用者が減少しており、それに伴って、町の補助金負担も年々拡大しています。全国的に高齢ドライバーの交通事故が相次ぎ、社会問題化していますが、都市部と比べると鉄道やバス等の利便性は低く、高齢になっても免許を返納することができないケースも見受けられます。

これらの地域公共交通の課題に対応するため、平成30年度に、中部1市4町で「鳥取県中部地域交通網形成計画」を策定しました。中部圏域での移動ニーズに対応したバス路線の再編を行うなど、持続可能な公共交通ネットワークの構築に取り組んでいます。

また、本町では免許を持たない人の移動手段を確保するため、平成25年度からタクシー助成制度を開始しました。今後も交通と福祉の分野が連携し、共助交通の実施を支援するなど、誰もが外出しやすい持続可能な移動手段の確保を図っていく必要があります。

【施策の内容】

（1）生活道路の整備

- ・町道の改良を行い、舗装率の向上を図ります。


（2）主要幹線道路の整備



- ・「北条湯原道路」の早期整備を周辺自治体と連携し、関係機関に要請します。
- ・「山陰道」の早期整備を周辺自治体と連携し、関係機関に要請します。
- ・県道の適切な維持管理及び歩道の整備について、関係機関に要請します。

（3）持続可能な交通ネットワークの構築

- ・地域の実情、移動実態にあわせたバス路線の維持、乗りあいタクシーの運行を行います。
- ・持続可能な移動手段の確保を図るため、タクシー助成制度の見直しや共助交通の実施を検討します。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
町道の改良	74.9%	80.0%	11.2 

項目	現状 (R1 実績)	目標 (R12 目標)	SDG s
町道の舗装率向上	95.8%	98.0%	11.2 
公共交通に不満を持つ人の割合 (町民アンケート)	56.6%	45.0%	11.2 

【みんなで取り組むこと】

- ・道路の適切な維持管理のため、修繕箇所を連絡しましょう。
- ・交通の支障となる草木の伐採を行い、安全な通行の確保に努めましょう。
- ・高齢者の移動手段の確保等、地域課題の話し合いの場に参加しましょう。

2. 上水道の整備・維持管理


【現状と課題・施策の基本的方向】

合併後、上水道の町内一本化を図るため、水道施設の更新や増強を行いました。配水管、水源池等においては老朽化が進んだ設備も多く、今後も安定して水道水を供給するために、耐震化など計画的な施設整備や更新が必要となっています。

【施策の内容】

- (1) 水源の保全
- (2) 老朽化した施設の更新と維持管理

【施策の目標 (KPI)、関連するSDG s】

項目	現状 (R1 実績)	目標 (R12 目標)	SDG s
配水管耐震化	20.9%	30.0%	6.1 

【みんなで取り組むこと】

- ・水資源確保のため、節水に心がけましょう。
- ・水道料金は期限内に納付しましょう。

3. 下水道の整備・維持管理


【現状と課題・施策の基本的方向】

公共用水域の水質保全と快適な住環境の確保を目的に、下水道をはじめとした生活排水処理施設整備を進めてきました。施設整備が完了してから年数が経過したことから、汚水処理施設、管渠等においては老朽化が進んだ設備が多く、計画的に維持管理を進めています。今後の更なる効率的な運営を目指して、農業集落排水をはじめとした下水道関連事業の事業統合や、北条下水道管理センターと大栄浄化センターの施設統合を検討します。

【施策の内容】

- (1) 施設・設備の長寿命化
- (2) 水洗化の促進

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
水洗化率	90.5%	100%	6.2, 14.1 

【みんなで取り組むこと】

- ・下水道未接続の場合は速やかに接続しましょう。
- ・下水道使用料は期限内に納付しましょう。

4. 公共施設・住環境の整備・維持管理

【現状と課題・施策の基本的方向】

人口減少が進行する中、既存の公共施設を維持していくことは維持管理費の負担が生じるほか、大規模改修のリスクによる多額の費用の発生が見込まれ、町財政を圧迫するだけでなく、公共サービスの低下も招きかねません。そのため、公共施設の適切なあり方を検討し、公共施設の取捨選択を行い、必要な施設については省エネ改修するなど、将来的なコストの削減を図りつつ、CO2の排出削減を進める必要があります。

町営住宅については、老朽化した町営由良宿団地の建替えが令和2年度に完了の見込みとなり、居住性・安全性等に配慮した様々な世帯に対応できる住宅の整備を行いました。

続いて向山団地の用途廃止、六尾北団地の譲渡により住宅ストックの集約化を図り、ライフサイクルコストの縮減、維持管理費の平準化を図る必要があります。



公共施設の今後のあり方を考える（役場大栄庁舎）



町営由良宿団地

【施策の内容】



（１）公共施設個別施設計画の策定

- ・公共施設の適切なあり方を検討し、各施設の個別施設計画を策定します。
- ・公共施設からのゼロカーボンを実現していくための取り組み方針を定め、地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の改定を行います。

（２）町営住宅の維持管理

- ・町営住宅について、公営住宅等長寿命化計画に基づいて、耐久性の向上、定期的な点検、予防的な維持管理の実施により良質なストック形成に努めます。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
町営住宅の適正管理	120戸	60戸	3, 11.1  

【みんなで取り組むこと】

- ・公共施設を大切に利用しましょう。
- ・これからの公共施設のより良いかたちについて、みんなで考えましょう。

5. 情報化の推進

【現状と課題・施策の基本的方向】

北栄町では、CATV伝送路のFTTH⁴⁸化による高速通信網の整備により、町内全域でインターネット環境が向上しました。これら情報通信基盤の維持・管理に加え、通信速度は年々高速化しており、情報通信基盤を高度化していく必要があります。



だれもが情報を享受し、活発に情報発信し交流できるよう、計画的な整備更新を行う必要があります。

【施策の内容】

(1) CATV環境の維持・管理等

- ・情報通信基盤の維持・管理を行い、高速化・高度化に対応していくための計画的な設備更新を実施します。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状 (R1 実績)	目標 (R12 目標)	SDGs
CATV加入率 (TV)	84.41%	90.0%	9 
CATV加入率 (インターネット)	33.84%	40.0%	9 

【みんなで取り組むこと】

- ・CATVの番組を見て、地域に関心を持ちましょう。

⁴⁸ FTTH (エフティーティーエイチ) : 光ファイバーを利用した家庭用の高速データ通信サービス

第3項 安全なまちづくりの推進

1. 地域防災・危機管理対策の充実

【現状と課題・施策の基本的方向】

近年、日本各地で大地震、集中豪雨による大規模土砂災害、堤防決壊による広範囲の浸水等の発生率が高まっています。また、新型インフルエンザ、新型コロナウイルスなど、新しい脅威に対する対応の強化も必要になっています。

災害や危機管理への備えを忘れることなく、日ごろから地域との交流・訓練等により防災力を高めておく必要があります。

【施策の内容】



(1) 防災体制の整備

- ・災害等緊急時を想定した体制づくりを進めます。
- ・ハザードマップ⁴⁹を随時更新し、住民周知します。
- ・新型インフルエンザ・新型コロナウイルス等の感染対策について、国・県等の関係機関と連携し、危機管理体制を強化します。
- ・町民の防災教育や防災訓練等の実施により、防災に対する意識を高めます。

(2) 自主防災組織の育成

- ・地域における防災・避難訓練の支援、防災施設の整備にかかる防災機材の助成を行い、自主防災組織づくりを支援します。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
自主防災組織の組織化	48 組織	63 組織	11, 17.17  

【みんなで取り組むこと】

- ・災害時における町の勧告・要請に従いましょう。
- ・自治会や町が実施する訓練等に積極的に参加しましょう。
- ・防災マップや関連資料の把握に努めましょう。

⁴⁹ ハザードマップ：様々な自然災害を予測しその被害範囲を図上に示したもの

2. 生活安全の対策の充実

【現状と課題・施策の基本的方向】

北栄町における犯罪、交通事故とも毎年、一定数発生しています。交通事故、犯罪の発生抑止のため、引き続き、防犯灯、防犯カメラ、交通安全施設の整備が必要になっています。

人口減少や高齢化に伴い、廃屋・空家が増加しています。倒壊、病害虫の発生のおそれがあるため解体・撤去の推進が必要となっています。

【施策の内容】

(1) 交通安全施設の整備と意識啓発

- ・交通安全に対する意識の高揚を図るため、交通安全運動期間における重点啓発、交通安全教室の開催等を行います。
- ・交通安全施設を効果的に整備し、交通事故の発生しにくい環境づくりを推進します。

(2) 防犯活動の推進

- ・あいさつ、声かけ運動の実施により町民の防犯意識の高揚を図ります。
- ・防犯設備を効果的に整備し、犯罪の発生しにくい環境づくりを推進します。

(3) 危険な空家の撤去

- ・空家等除却事業費補助金の周知を行い、危険な空家の撤去を促進します。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状 (R1 実績)	目標 (R12 目標)	SDGs
補助金活用による空家撤去	8 件	毎年 8 件	11 
防犯カメラ設置(観光分を除く)	1 件	3 件	11 

【みんなで取り組むこと】

- ・運転する人は速度や交通マナーを守りましょう。
- ・歩行者等は、安全を確認して通行・横断しましょう。
- ・空家は早めに解体等を行いましょう。

第5節 人と人とのつながりを育むまちづくり（コミュニティ・町政・交流・移住定住）

町民一人一人の生活を豊かにするため、地域にそれぞれ存在し、町民の活躍の場となっているコミュニティの取り組みを積極的に支援します。また、自らの町を自ら作り、守り、育てる「町民自治のまち」の実現に向け、まずは行政が積極的に様々な場面で行政への住民参画を求め、町民・行政が同じ方向を向いて積極的に議論できる環境を整えます。他の地方自治体や国々との積極的な交流を企業、学校などと連携しながら行うことで、人々が行き交い、様々なネットワークを形成できるまちづくりを進めます。



花火や各種イベント満載「北栄砂丘まつり」



住民ワークショップ「ほくえい未来トーク」



地域に賑わい創出「北条ふるさとまつり」



江戸中期から地域で続く「由良だんじり」



移住相談会



台湾台中市大肚区との交流

第1項 地域活動・まちづくりへの参画推進

1. 協働活動の推進

【現状と課題・施策の基本的方向】

北栄町は、平成19年度に県内で最初に「自治基本条例」を制定し協働のまちづくりを推進してきました。人口減少等の社会の急激な変化や価値観の多様化によって増加した地域課題を解決するには、町民と議会と行政がこれまで以上に協働してまちづくりに取り組み、互いの役割と責任を果たすことが求められています。

また、少子高齢化による地域の担い手不足が懸念されています。町民のつながりを深めるとともに、誰もが地域に関心を持ち、地域の担い手として活躍できるよう、町民が互いに尊重し、協力し合って地域活動を担っていくことが必要です。

【施策の内容】




(1) 地域コミュニティの活性化

- ・町民の自主的な地域づくり活動への支援と、その担い手の育成を図り、持続可能な地域づくりを推進します。
- ・町民が気軽に集まることができる機会や場所の充実、地域における多世代交流を促進します。
- ・町民が地域の文化、歴史、文化財に関心を持ち、その特長を活かした地域づくりを推進します。

(2) 町民参画の推進

- ・公募による各種審議会等の町民委員の登用や、重要な条例や計画の策定にあたっての町民意見募集の実施など、町民の声が町政に反映させるシステムを確立します。
- ・民間団体や、ボランティアによる活動が充実するための支援を行い、活動団体相互の連携を呼びかけます。
- ・協働と参画に対する意識の啓発を行います。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状 (R1 実績)	目標 (R12 目標)	SDGs
地域活動助成の実施件数	8件/年	100件/11年	17.17 
町民参加によるまちづくりに対する満足度（町民アンケート）	51.8%	60%	16.7, 17.17  

【みんなで取り組むこと】

- ・あいさつや声掛け、コミュニケーションを大切にしましょう。
- ・地域行事やボランティア活動に参加、協力しましょう。
- ・地域の関心を持ち、地域のことは、地域の話し合いで決定しましょう。
- ・委員の募集や各種アンケート等、町民参画制度は積極的に利用しましょう。

2. 開かれた町政運営

【現状と課題・施策の基本的方向】

町政情報の積極的な発信は、町政への理解を深め、町政への参画を促進する上で非常に重要です。町民アンケートの結果、役場からの情報発信に対し、満足している人が約 59%で、約 27%の人は不満であるとの結果になっています。また、多数の人が情報発信は必要であると感じており、より満足のいく情報発信の方法を検討する必要があります。

より良い町政運営のため、積極的な情報発信を行うとともに、幅広い年齢層からの町民意見を取り入れることが大切であり、意見や要望の受付窓口、町民が気軽に相談できる苦情相談窓口について、継続して設置することが求められています。

【施策の内容】

(1) 情報公開の推進

- ・町施策方針、目標、実施状況等の公開を促進します。
- ・審議会等の議事録をホームページに公開します。

(2) 情報提供の充実

- ・わかりやすく、適確な情報提供を行います。
- ・読みやすく、魅力のある広報誌づくりを継続します。
- ・情報伝達手段の多様化に対応して、情報を受け取る人が利用しやすい情報媒体（広報誌、告知放送、ケーブルテレビ、ホームページ、SNS、アプリ等）での発信を行います。
- ・SNSや動画、外国語、マスメディア等を活用し、全国や海外に対して、北栄町の魅力を発信します。

(3) 広聴活動の充実

- ・各種アンケート調査やパブリックコメント⁵⁰、地域座談会の実施により、広聴機会の充実を図ります。

(4) 相談窓口の設置

- ・町政に対する意見、要望、苦情等は、庁舎及び中央公民館などに設置する意見箱や、町ホームページなどでも受け付け、速やかに回答するとともに、個人情報を含まない意見は、庁舎掲示板などで意見の内容、回答を公表します。

⁵⁰ パブリックコメント：行政が施策の計画段階で原案を発表して、一般から意見を募り、その意見を考慮して最終決定を行うこと。意見公募

- ・個人に関わる日常的な相談や悩み事に対しては、情報提供体制を充実させ、専門機関の紹介などの支援を行います。




「広報北栄」で町の情報発信



町の公式フェイスブックは 4,000 フォロワー達成

【施策の目標 (KPI)、関連するSDGs】

項目	現状 (R1 実績)	目標 (R12 目標)	SDGs
役場からの情報発信・情報公開の満足度	58.8%	70%	16.6, 16.10 

【みんなで取り組むこと】

- ・町から得た情報は家庭、地域、職場等で共有しましょう。

第2項 交流の推進

1. 交流の推進

【現状と課題・施策の基本的方向】

国際交流では、平成22年7月に台湾台中県大肚郷と友好交流協定を締結しました。その後の合併によって台中市の行政区の一つとなった大肚区と相互交流を進めています。現在は青少年訪問団の相互交流を行っていますが、今後は相互の青少年交流を継続しつつ、一般町民にも交流の機会を提供し、文化、教育、農業等による交流を進めます。国際感覚豊かな人材の育成を図るため、多様な国際交流活動を促進します。

国内交流では、平成23年7月に滋賀県湖南市と友好交流協定、並びに8月には災害時相互応援協定を締結しました。また、東京都港区とも歴史、文化等のつながりによる交流を進めています。現在は催事への参加、青少年交流、商工会交流、農産物のPR等を行っているところです。今後は交流人口の増加を促進し、関係市町の発展に資するべく町民、民間団体等、幅広い分野における国内交流を推進します。

また、民泊事業を推進しており、交流・関係人口の増加、北栄町ファン等の増加を目的に、北栄町農家民泊推進協議会を中心に関西圏の中学校が実施している体験型教育旅行の受け入れを行っています。しかし、協力していただける受入家庭が少なく、北栄町単独での受け入れが困難で、他団体と協力して受け入れを行っている状況です。今後は、農家民泊の活動意義・目的等を幅広く周知し、協力していただける受入家庭を増やす必要があります。

町内には宿泊施設が少ないため、民泊事業を行っている事業者や新規事業者への支援を行い、町内に滞在していただける時間をできるだけ確保し、北栄町をより深く知っていただく機会を増やしていきます。



農家民泊



台湾台中市青少年交流であやとり

【施策の内容】

(1) 国際交流の推進

- ・台湾台中市大肚区との相互青少年交流を継続して推進します。
- ・一般町民が参加できる交流を推進します。


(2) 国内交流の推進

- ・滋賀県湖南市等との交互の文化、教育、農業等での交流を推進します。
- ・お互いの持つ魅力（自然環境、歴史、文化等）を活かし、可能な限りあらゆる分野での交流を推進します。
- ・湖南市のみならず他市町との国内交流を促進し、交流人口の増大を進めます。
- ・民間における幅広い分野での交流を支援・推進します。

（3）民泊事業の推進

- ・教育旅行受入家庭の確保のため、北栄町農家民泊推進協議会と協力して幅広く募集を行います。
- ・民泊事業に関する情報発信、各種支援等を行います。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
台湾台中市大肚区との交流	相互青少年交流 派遣・受入 各1回/年	相互青少年交流 派遣・受入れ 各1回/年 町民参加の交流1回/年	4.7 
滋賀県湖南市との交流	相互交流 派遣・受入れ 各2回/年	相互交流 派遣・受入れ 各2回/年 民間主体の交流1回/年	4.7 
教育旅行受入れ家庭の増加	10 家庭	15 家庭	11. a 
民泊事業者の増加	1 事業者	3 事業者	11. a 

【みんなで取り組むこと】

- ・異なる地域の歴史や文化を理解するように心がけましょう。
- ・国際交流や多文化理解などのイベントへの参加やボランティア活動を通じて、国際化への理解を深めましょう。
- ・自分の地域の歴史、文化、魅力を説明できるように努めましょう。

第3項 移住定住の促進

1. 北栄暮らしの支援

【現状と課題・施策の基本的方向】

現在、移住者に対する支援や、相談会等へ参加して北栄町のPRを行っています。

今後も引き続き関係機関や中部地区の他市町とも連携し、雇用や住まい、教育・子育て、福祉等のコンテンツ⁵¹を活用し、様々なツールで情報発信を行います。

「北栄町に住んでみたい」、「北栄町に住んで良かった」と思ってもらえる支援を行い移住・定住を推進します。

【施策の内容】

(1) 移住希望者への情報提供

- ・都市圏での相談会等に参加し、県外者へ効果的に情報提供を行います。

(2) 移住希望者の創出

- ・様々なコンテンツを活用して、幅広く町のPRを行います。
- ・町ホームページ等を活用し、定住に向けての情報発信を行います。

(3) 移住・定住支援

- ・移住・定住を促進するため、空き家情報バンクや移住奨励金などの各種支援を行います。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
移住相談会へ参加	8回／年	10回／年	11. a 
移住者数	66人／年	75人／年	11. a 
定住者数	146人／年	175人／年	11. a 

⁵¹ コンテンツ：本来は内容、中身という意味の言葉。提供している作品や記事・画像・動画など、売りとなる情報全般のことを指す



北栄暮らし通信（ツイッター）



【みんなで取り組むこと】

- ・一人ひとりが北栄町の良さを、積極的にPRしましょう。
- ・自らの町の魅力をつくり、知り、発信しましょう。

▶ 第6節 健全な財政運営

人口減少・少子高齢化が予測される中、持続可能で健全な財政運営を行い、厳しい財政状況下においても将来にわたって住民サービスを維持し、その質を向上させていくよう努めます。このため行財政改革を推進するとともに、歳入確保に向けた取り組みを一層推進します。



第1項 健全な財政運営

1. 行財政改革の推進

【現状と課題・施策の基本的方向】

自治体の財政指標のひとつである実質公債費比率は、平成21年度をピークに減少しており、平成30年度には13.8%となるなど近年の財政運営は概ね順調に推移しています。一方、町の収入の4割程度を占める普通交付税について、合併による優遇措置がありますが、この措置が合併後10年を経過した平成28年度から段階的に縮小されており令和3年度には完全に廃止となります。北栄町の人口推計を加味すれば普通交付税は減少していくことが予想され、今後、厳しい財政状況が見込まれます。

持続可能で健全な財政運営のため、行財政改革及び事務事業の見直しを行い、民間にできることは民間に委ねるなど、コンパクトな自治体運営が必要となっています。

北栄町行政改革プランの確実な実行に加え、AI⁵²やRPA⁵³などの最新テクノロジーを導入し、業務の効率化を図り職員で行う業務の質の向上に努め、厳しい財政状況下でも住民サービスを維持・低下させず、住民サービスの向上と効率化の両立を図っていく必要があります。

【施策の内容】

(1) 行財政改革の推進

- ・行財政改革プラン及び公共施設等総合管理計画に基づき行財政改革を推進し、無駄のないスリムな行政を目指します。

(2) 事務事業の効率化

- ・効率的で質の高い行政サービスを提供するため、AIやRPAなどの最新テクノロジーを導入し、事務業務の効率化を図ります。

(3) 民間委託の推進

- ・スリムでコンパクトな自治体運営を目指し、民間で可能な事業については、積極的に民間委託を進めます。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
財政調整基金の残高	16億3,366万円	10億円	—
起債残高 ※町全体の借金残高	170億6,200万円	117億円	—

⁵² AI（エーアイ）：人工知能。人間が持っている、認識や推論などの能力をコンピューターでも可能にするための技術の総称

⁵³ RPA（アールピーイー）：これまで人間が行ってきた事務作業の一部を、ロボットを使って自動化する取り組み

【みんなで取り組むこと】

・町政運営や財政状況に関心を持ち、地域座談会、審議会・委員会、パブリックコメントなどを通じ意見を述べ、互いに考えましょう。

2. 歳入確保に向けた取り組み

【現状と課題・施策の基本的方向】

町税等の貴重な自主財源を確保するため、適正な課税と確実な徴収を図ります。また、ふるさと納税の取り組みを推進し、寄附金の確保に努めます。

【施策の内容】


(1) 徴収・滞納整理の強化

・県下でも上位の徴収率を維持するため、漏れのない課税と法令に基づいた着実な滞納処分により、「納税義務」の履行を進めます。

(2) ふるさと納税の取り組み

・返礼品の充実とふるさと納税のPRにより、自主財源の確保に努めます。

【施策の目標（KPI）、関連するSDGs】

項目	現状（R1実績）	目標（R12目標）	SDGs
町税等徴収率（現年度・滞納繰越）	99.2%	維持	10.4 

【みんなで取り組むこと】

・持続可能なまちづくりには、財政的な基盤が不可欠であることをご理解いただき、期限内納付に努めましょう。

第5章 資料編：町民の方々からいただいた意見や議論について

本章においては、「ほくえい未来トーク」において参加者の方から出された意見や、町民アンケートの結果分析について詳細を記載しています。

1. 北栄町の現状・課題について

(1) ほくえい未来トークにおける議論

ほくえい未来トークにおいて「北栄町の課題・将来不安なこと」を議論していただいた際の主な意見は次のとおりです。

分野	北栄町の課題・将来不安なこと
産業×雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・企業が少なく働く場所がない。 ・企業進出がない。大企業が来たとしても働く人材がいないのではないかな。
農林業	<ul style="list-style-type: none"> ・農家が高齢化している。農業者の確保が難しい。 ・耕作放棄地や遊休地が増加している。山地が荒廃している。田園風景が変化している。鳥獣被害が増加している。
観光×文化	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客が楽しめる飲食店、宿泊先、遊べる場所が少ない。町内でお金が使われない。 ・町の他の魅力（文化財、自然環境など）につなげていない。 ・人任せにする意識がある。町民のコナンへの意識が薄い。
商業施設（買物、飲食店）	<ul style="list-style-type: none"> ・商店、飲食店、商業施設が少ない、あるいは遠い。閉店時間が早い。 ・店を出しても、働く世代の若者が少ない。店を開けてもお客が少ない。 ・どこに行くにも不便である。バス停までが遠い。買い物難民が出始めている。
子育て×教育	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが少ない。部活数等も不足している。指導者や保育士も不足している。 ・子どもの住んでいる地域と地域が遠い。子どもを外で遊ばせたいけど場所がない。 ・進学に対する意識が低い。勉強する環境の選択肢が分からない。保育料が高い。
コミュニティ×協働	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減により、自治会、地域行事の維持運営が難しくなる。 ・コミュニティを支える人が不足している。自治会役員、行事の参加者が固定化し、負担が増えている。 ・住民の交流場所、コミュニティの場がない。気楽に集える集合施設がない。
福祉×医療	<ul style="list-style-type: none"> ・病院数が減っている。病院や診療所へのアクセスが悪い、近くにない。「いざというとき」に病院に行くことができない。 ・高齢者が増加し、入所施設が不足している。介護人材も不足している。老々介護が生じている。
健康	<ul style="list-style-type: none"> ・車社会のため歩くことが少なく運動不足になる。ホームドクターとなる医師がいない。

分野	北栄町の課題・将来不安なこと
	<ul style="list-style-type: none"> ・病院に健康診断に行く人が少ない。リハビリテーションの機会の場が少ない。
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・車がないと暮らせない、生活が不便である。車に乗れない人への配慮が必要である。 ・公共交通機関など自家用車以外の選択肢が少ない。
暮らし×住まい	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家が多く、虫食い状態で存在する。家や庭が荒れることによる被害がある。 ・新築の家を建てる土地がない。 ・傾斜が多く、冬の雪道が困る。川沿いや海岸にポイ捨てされたごみが多い。
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・防災活動や災害対策が必要である（個人と自治会の対策を含む）。現状の対策でよいのか不安である。 ・外灯が少なく、夜になるとまちが暗い。子どもが一人で帰りたくない。 ・空き家が増加している。松くい虫等による防風林の被害がある。海岸が浸食されている。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・町の公表情報が知られていない。またそのために信用を得られない。
インフラ×財政	<ul style="list-style-type: none"> ・税込減、支出増（福祉・医療・教育・大型事業）。公共サービスの維持が難しくなる。 ・道路、橋、水路溝、ダム、公共施設などのインフラの維持や更新、老朽化対策が必要である。 ・道幅が狭い。草が茂っている。冬期の除雪が通勤時間に影響を及ぼしている。 ・鳥取や米子、山陰の中核都市から離れており過疎化が進行している。 ・インターネット回線が遅い。光回線が通っていない。
人口×若者×定住	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が進行している。人口が減るのはさみしい。人口減少を食い止めるべき。 ・若い人は減少し、高齢者は増加している。10代20代の流出により活力が低下している。 ・若い人の考えはまちづくりのための財産である。若者世代の関心が薄い。
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリン、光熱費が高い。

(2) 町民アンケート結果

設問：次の各分野について、これまでの北栄町の取り組みにどのくらい満足していますか。

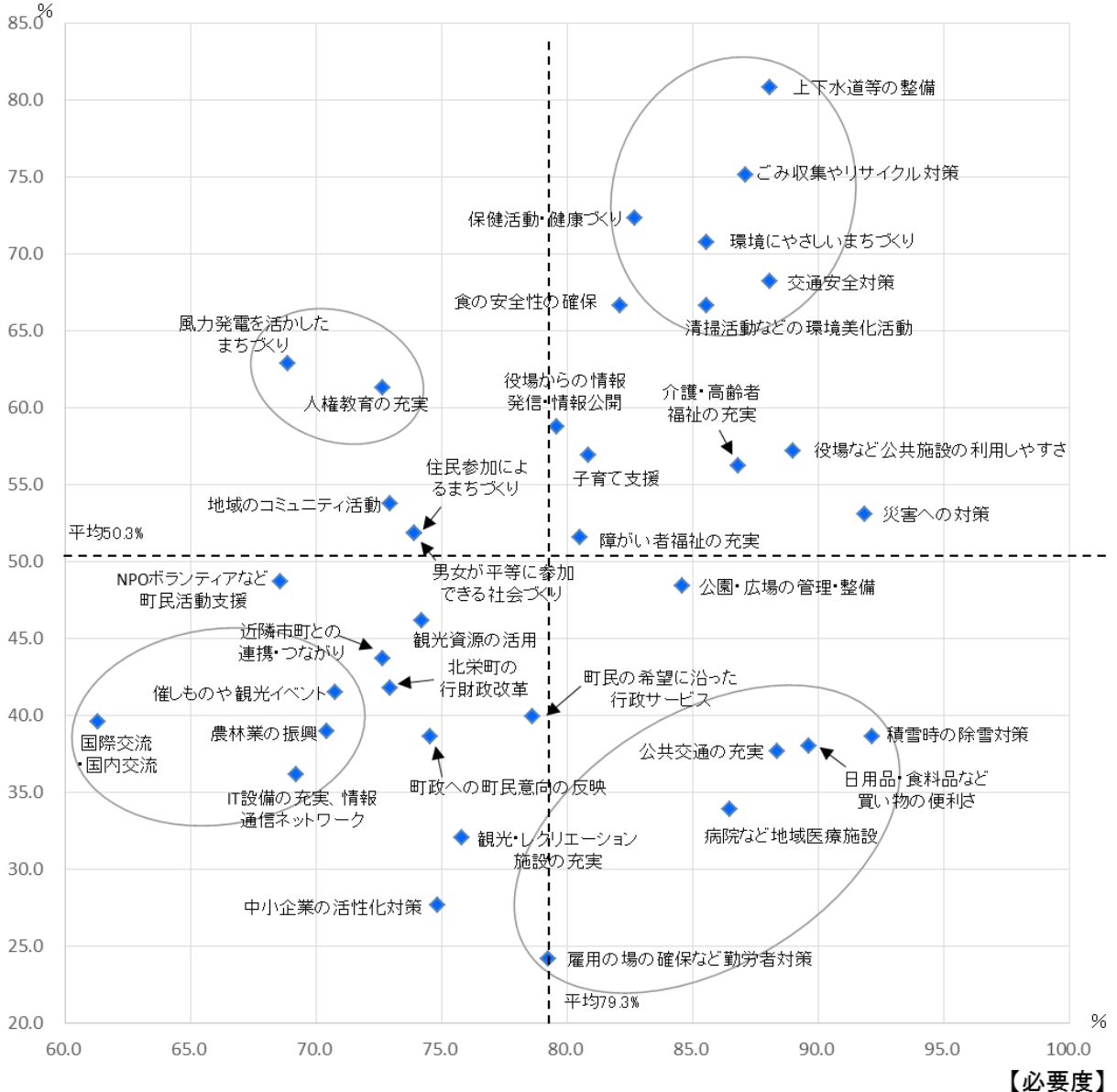
満足度・必要度がともに高い：「上下水道等の整備」「ごみ収集やリサイクル対策」など

満足度が低く必要度が高い：「雇用の場の確保など勤労者対策」「病院などの地域医療施設」「公共交通の充実」など

満足度は高いものの必要度が低い：「風力発電を活かしたまちづくり」「人権教育の充実」など

満足度・必要度がともに低い：「国際交流・国内交流」「IT設備の充実、情報通信ネットワーク」など

【満足度】



満足度-必要度散布図の見方

- ◆縦軸が満足度、横軸が必要度であり、それぞれ数値が高いほど満足度または必要度が高いことを表しています。
- ◆満足度：「充分満足」「まあ満足」と答えた人の割合
- ◆必要度：「非常に必要」「必要」と答えた人の割合

2. 北栄町の理想の将来のあり方について

(1) ほくえい未来トークにおける議論

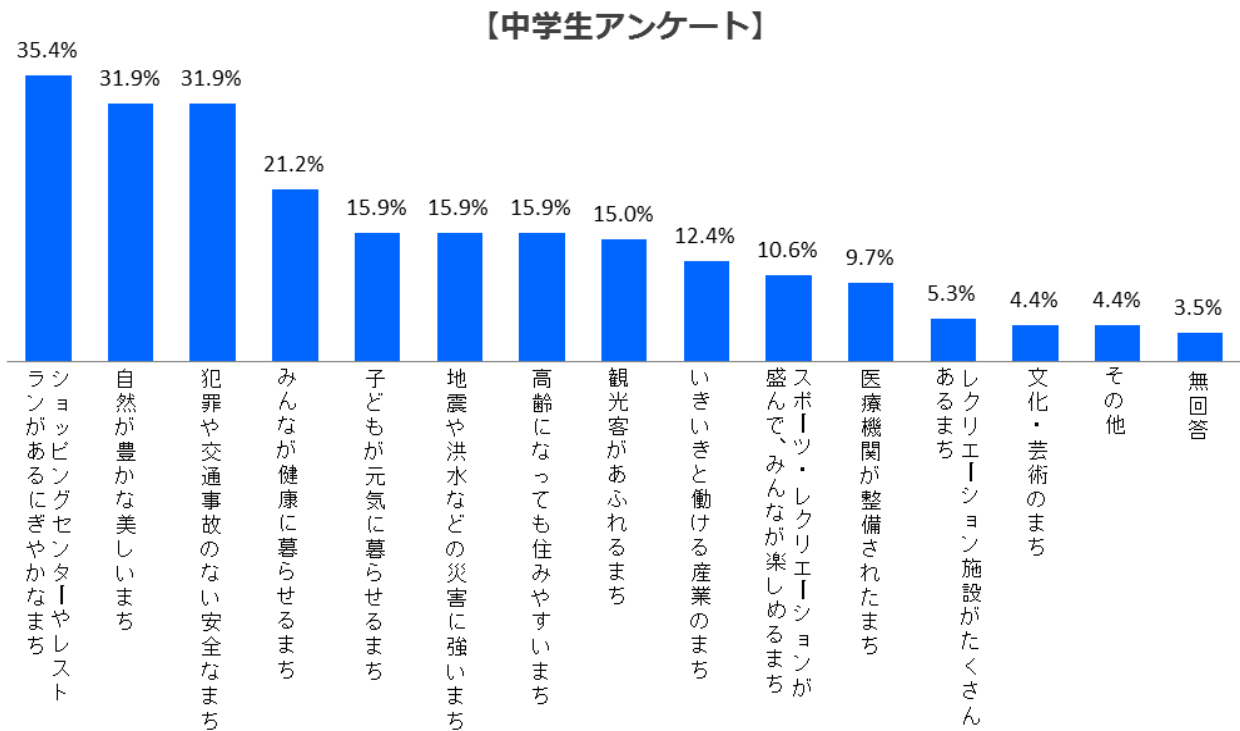
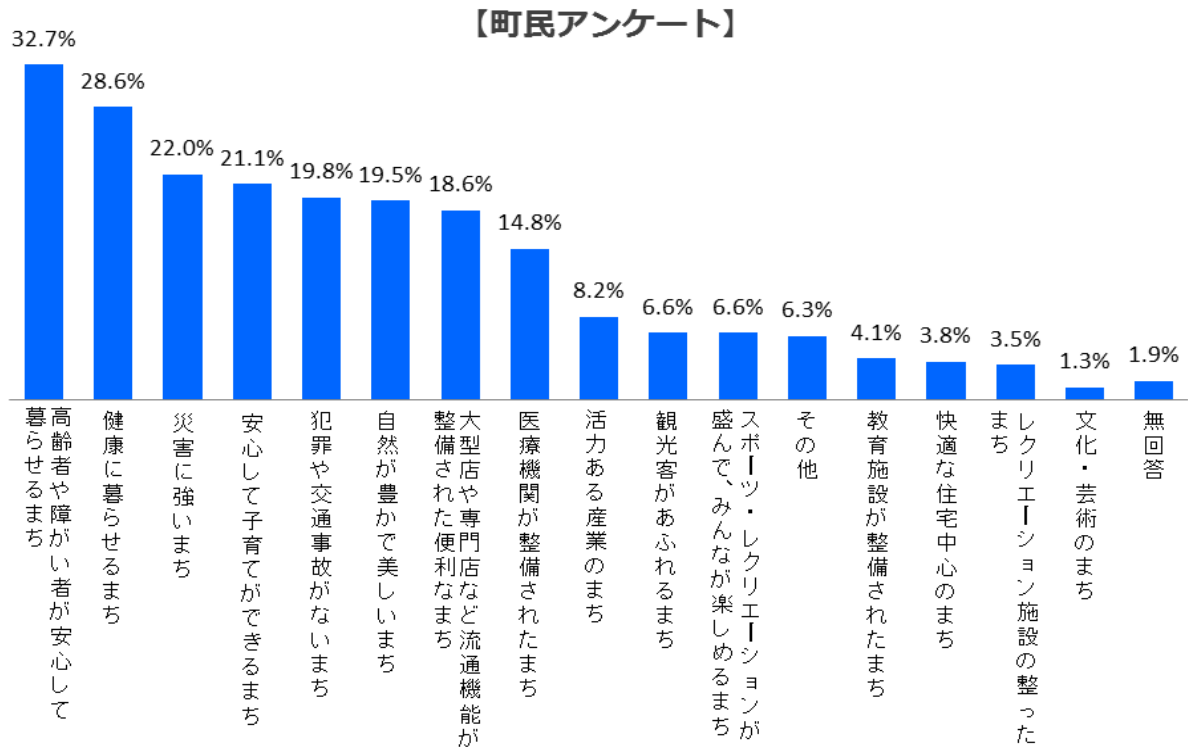
ほくえい未来トークの中で、「10年後に北栄町がどうなっていたらいいか」について話し合いをした結果、たくさんの意見がありました。主な意見については以下のとおりです。

グループ	理想 「10年後の理想の北栄町を考えよう」
産業×雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・北栄町にたくさん働く企業、場所がある。「働き口が無い」という人がいない。 ・主力産業がある。北栄町にしかない技術や人材がある。事業者がレベルアップしている。企業がたくさんあり町に活気がある。産業、観光などが整備、誘致されている。 ・商業、農業者の後継者に困らない。次世代への継承の不安が解消されている。
農林業	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物のブランド、特産品が継続されている。農業面積、優良農地を維持できている。 ・農業者数を維持でき、新規就農者が増加している。農業をしたい人達が多数いる。 ・農業が企業化されている。AIを農業に利用している。スマートアグリで活性化されている。農業の生産性が高い。
観光×文化	<ul style="list-style-type: none"> ・コナンのまちとして盛り上がっている。国内外の方々から愛され親しまれる町である。 ・飲食店、商業施設、レジャー施設等の増加し活性化している。既存の施設が充実している。 ・景観や環境が維持されている（または向上している）。住民同士のふれあいの機会が増加している。ふれあいの場所が整備されている。 ・コナンとその他の魅力との横のつながりができている。
商業施設	<ul style="list-style-type: none"> ・大型のショッピングモールや美味しい料理店がある。買いものが近くでできる。
子育て×教育	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに安心が持てる町、子育てがしやすい環境である。子どもがイキイキと健康的に過ごせる。遊び場がたくさんある。 ・子どもがたくさんいてにぎやかである。子ども人口を維持できている。 ・教育の選択肢が増える。文化、教育面で学べるものが充実している。体力や学力が高い。 ・教育費が安く、教育費に心配がいらぬ。保育料が安い。
コミュニティ×協働	<ul style="list-style-type: none"> ・住民でまちづくりをするまちである。たくさんのコミュニティがある。年間を通した人のつながりを確保できている。老若男女が共助できている。地域行事が続いている。 ・交流できる場所がある。外に運動ができる場所がたくさんある。 ・北栄に関わる人（交流人口）が増加している。
福祉×医療	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が楽しく安心し、活躍しながら暮らせる。高齢者が多くても希望の持てる町である。 ・障がい者と健常者が普通に交流している。社会的弱者にやさしい環境である。 ・自宅での診療が受けられやすい。常時介護が必要な人でも自宅で暮らせる。
健康、住まい	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢世代の現役で活躍している。健康寿命が伸びている。健康のための家づくりが発展している。

グループ	理想 「10年後の理想の北栄町を考えよう」
	<ul style="list-style-type: none"> ・健診率が向上している。「健診車」や「心の相談窓口」が集落単位で行われている。 ・運動に楽しみを持って参加できる仕組みがある。ギネスに登録（日本で一番歩く町）される。 ・歯の健康、睡眠、健康に役立つ料理などに関するイベントがあり、普及啓発ができています。
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・車がなくても不便でなく生活を楽しめる。ループバス、徒歩、曜日ごとのバス運行、無人自動車などがある。交通の便が良くなる（新幹線や道路）。
暮らし×住まい	<ul style="list-style-type: none"> ・人がいきいきと輝いている町である。人がたくさん歩いていて町に活気がある。 ・自然、山がきれい。住みやすい。都会でなくても豊かに暮らせる。地産地消に取り組んでいる。国内外の人にも自慢できる。訪れる方もいいなあと思う。 ・いろいろな国の人が町に住んでいる。海外の人が沢山住める町である。 ・人権宣言の町として充実している。ごみが落ちていない。農道に草花がある。空き家が少ない。
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・災害にも強い持続可能な町、防災がしっかり安定し安全な生活の不安がない町である。 ・防災研修や詳細な防災マップ（地震、水害、津波）がある。地域防災に楽しく取り組んでいる（行事）。地域のつながりを確保できている。高い建物など避難できる場所がある。 ・空き家や道路が整備されている。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマごと（健康、家、公的手助け、助成金等）に情報発信され、共有されている。 ・地域ごとでのグループを作成する。スマホを独自に活用する。
インフラ×財政	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に集える場所、天気問わず交流できる場所 図書館、公民館、体育館、軽食（集合店舗）、公園（アスレチック）などが充実している。 ・インフラ等の生活基盤やインターネットなどがきちんと整備されている。
人口×若者×定住	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが沢山いる。人口低下を食い止める。少子高齢化が改善されている（若者世代が増える）。 ・健康、福祉、子育てといったサービスがもっと充実している。 ・若者が活躍するまち。学生が終わり、その後、住みたいと思うまち。
エネルギー×環境	<ul style="list-style-type: none"> ・風力や太陽光のエネルギーで自給自足ができています。エネルギーの地産地消ができています。 ・変わらず自然豊かである。そのままの良さを活かしている。

(2) 住民アンケート結果とその分析

設問：あなたは将来どのような北栄町に住みたいと思いますか。



3. 将来のあり方を実現するための対策アイデア

ほくえい未来トークにおいて、「理想の将来像と現実のギャップを埋める対策」について議論した結果、たくさんのアイデアがありました。主なアイデアは以下のとおりです。

グループ	対策アイデア 「理想と現実のギャップを見て対策を考えよう」
産業×雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・日本一の農業差別化商品を創出する。技術力を磨く。 ・魅力ある産業を創出する（産官学の連携を強化する）。 ・商工会支援、ローカル資本の企業援助を行う。 ・大きな企業より小企業をたくさん増やす。 ・北栄町民の雇用に対して企業に助成金を出す（設備投資とは別）。 ・若者に魅力ある職場を創設する。 ・働く環境を改善する。選択肢が広がるとよい。 ・働く大事なことのエビデンスを集める。 ・人材育成や技術開発を支援する。 ・たくみの技、技能伝承を優遇する。 ・大学農学部などで宣伝する。 ・大学での現場実習をする。 ・魅力的な企業、商店をつくる（個性化）。 ・求人情報のとりまとめを充実させる。 ・宿泊場所を建てて人を増やしたら、店の開店時間がのびる。 ・飲食店などを建てて人が来やすい場所にする。 ・チャレンジショップ通りをつくる。 ・みんなでシェアして働く場所をつくる。 ・将来を学ぶ場所や機会を設ける。
農林業	<ul style="list-style-type: none"> ・有機栽培で付加価値を高める。 ・無農薬栽培で土にも人にも優しい農業をする。 ・農業の企業化を積極的に進める。 ・農業振興地域を見直す（優良農地のみ残しあとは山林へ）。 ・有料ボランティアによる耕作放棄地や山を整備する。地域ごとにボランティアを募る。 ・食の安全と安心、地産地消を進める。 ・市場に出せない農産物を活用する。 ・給食に地元の食材をつかう。 ・人力に頼らない農業をする。 ・町産業振興課や農業委員会の取り組みを強化する。

グループ	対策アイデア 「理想と現実のギャップを見て対策を考えよう」
	<ul style="list-style-type: none"> ・地主とのコミュニケーションをとる。 ・残すべき農地を整理する。 ・有害獣対策を推進する。捕獲などのハードルを下げる。
観光×農業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の観光化を推進する。地産地消型のワイナリーやレストランなどを設置する。 ・都会のレストラン経営者を誘致する。
観光×文化	<ul style="list-style-type: none"> ・コナン駅周辺に集える場所を設置する。 ・お台場からコナン駅までを充実させる（歩きながら楽しめる）。 ・鬼太郎ロードみたいにする。 ・内外部からの商店を出会いの広場へ誘致する。 ・出会いの広場に箱ものをつくる。 ・お台場市場を拡大し充実させる。 ・道路→歩道に屋根を設置する。 ・宿泊施設を（民泊）設置する。 ・〇〇特区をつくる。 ・中部地区一体で考える。 ・ここでしかないものでPRできるものを探す、つくる。 ・コナンゲーセン プリクラなどがあるといい。 ・複合施設を建設する（町民が集える場、美術館など）。 ・町民は割引または無料で、気軽に訪れる仕組みをつくる。 ・町民ガイドを育成する。町に詳しい人に頼む。 ・SNSなどで魅力の情報発信をする。 ・コナン通りに在来商店を移設してもらう。 ・コナン通りに風よけもかねて長屋形式の商工街をつくる。 ・文化財も含め、著名な人に魅力を伝えてもらう機会をつくる。 ・資金を集めるためにコナンや特産品を使った、商品、店を出す。 ・コナン駅とふるさと館の往復バス（タクシー）を100円程度にして集客する。 ・観光コースを作る→紹介する。 ・「コナン × 〇〇」を企画する。 ・イベントを増やす。北栄文化をみていただくパフォーマンスをする。 ・町民向けのトークショー（青山剛昌先生）をする。 ・宿泊やホテルについて町外と協力する。 ・宿泊施設について周辺の市町とつながりを強化する。
商業施設（買物、飲食店）	<ul style="list-style-type: none"> ・企業を誘致する。

グループ	対策アイデア 「理想と現実のギャップを見て対策を考えよう」
	<ul style="list-style-type: none"> ・外販者を導入する。 ・移動販売を行う（移動販売車など）。 ・地元の商品が買えるお店を増やす。 ・地元企業の参入、集まる集合場所に図書館等を併設する。 ・現在の施設をつなげる。
子育て×教育	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て、結婚に関するお金を補助する。 ・子どもの居場所、遊べる場所を増やす。 ・子育てがしやすくなるような条例をつくる。 ・公園などの外で遊べるところを増やす。 ・空き家改修を一般にも開放する。 ・公的な建物を勉強や避難所として利用する。 ・公共施設を開放する、遊休施設を活用する。 ・身近に良い大学とかがあればよい。 ・由良駅前（今ある施設）公民館・図書館・体育館をつなげた集合施設にする。 ・お台場に遊び道具を整備する（ボール、なわとび、バトミントンなど）。 ・J A（駅前）の用地を有効活用する。 ・遊ぶ場所、働く場所をつなげる。 ・寄附を集めて遊具を作る（公園）。 ・0歳から保育料を無料にする。 ・北栄町独自の奨学金制度をつくる（北栄町に帰ってきたら返還不要など）。 ・ネウボラで子育てに関する知識や遊びが教えてもらえる。 ・家庭教育12ヶ条を継続する。 ・虐待に対する講義を実施する（児相など）。 ・保育士の給料を上げる、待遇をアップする。 ・保育士の体験機会を提供する。 ・授業の前に軽い運動をする（学力アップ）。 ・保育園後の体育館（遊戯室）を活用する。 ・格安スクールをつくる。 ・特区にして英語教育を充実する。北栄町から東大生が沢山でる。 ・お母さんが子どもの教育のためなら住みたいと思える町にする。 ・プールを新しくしてほしい。 ・スポーツの指導者を町外から招く。 ・スマホの利用時間（22:00までとか）を小中で決定する。 ・学校での部活の取り組みについて教育委員会で議論する。

グループ	対策アイデア 「理想と現実のギャップを見て対策を考えよう」
コミュニティ ×協働	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数の集まりや活動を大切にする。 ・自治会の活性化、消滅させないために合併する。 ・様々な対策や対応をトータルで包括的に考える。 ・個々の得意分野を共有する。 ・行政と民間企業でまちのあり方について話す場をつくる。 ・他県や外国の人に北栄町の良さをアピールする。ヒット商品をつくる
福祉×医療	<ul style="list-style-type: none"> ・医院を誘致する。 ・町出身の医者を見つけ、空医院の営業を支援する。 ・北栄町が地域医をつくる。 ・保健師を増やす（県に要望を通す）。 ・かかりつけ医を充実させる。 ・緊急時に即対応できるシステムをつくる（専門の人に医療・介護の相談ができる）。 ・生活習慣の改善を推進する（手作り料理を進める）。 ・高齢者の町づくりのモデルケースを作る。 ・「運動」と「健康」を考えるワークショップを鳥大と連携して開催する。 ・小児科を増やす。 ・簡単に身体を動かすことができるようラジオ体操等を年間通じて実施する。 ・精神科医ドクターの定期的な相談窓口を設ける。 ・早期発見の大切さを声を大に!!して伝える。 ・健診、各自治会内で受診できるようにする。 ・歯の健診の必要性をしっかりと住民に伝えていく。 ・歯のコンクール（町で毎年開催）家族単位で行う。 ・健康診断に行かせるように勧める（ポイント？ごほうび制度？）。 ・学校、地域などで運動のイベントを企画する。
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・自動運転車を導入する。 ・運転安全装置装備車を推進する。 ・カーシェアリングをする。 ・集落と大型スーパーを直結するショッピングバスを走らせる。 ・移動スーパーでお客さんのところに店が行く。 ・町内の巡回バスを走らせる。 ・マイクロバス、乗りあいタクシーを実施する（地区ごとに回る）。
暮らし×住 まい	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策、虫食い状態の対策をする。 ・空き家をリフォームする。

グループ	対策アイデア 「理想と現実のギャップを見て対策を考えよう」
	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家のとりこわしに助成金を出す。 ・空き家対策として移住を進める。 ・空き家を民泊として活用する。 ・自治会公民館を有効活用する。 ・空き家（家）をお店やコミュニティスペースとして利活用する。 ・若者と高齢者が共有に話し合うスペースをつくる。 ・ふれあいの場のレジャー施設をつくる。 ・音楽系大学の演奏の場を提供する。 ・芸術家の活動の場をつくる（瀬戸内の芸術の街みたいな感じ）。 ・町経営の住宅地をつくる。 ・固定資産税を減免する。 ・住める場所を増やす。 ・土地活用で集団（1人2人世帯）を住ませる場所にする。 ・住まいの計画の集中化をする。 ・医学からのアプローチを試みる。 ・行政のシンポジウムを企画し、有識者を招致する。 ・素人でもできる脱健康被害住宅を進める。 ・毎月の町報と一緒に一週間の食事のメニューを作って配布する。 ・調理と料理講習会は、食推会員だけでなく他の方法も試みる。 ・町内に在住する外国人に自国料理を紹介してもらう。 ・一人暮らしをサポートするメンバーを育成する。 ・自治会加入についてアパートに入居する時、自治会加入を約束してもらう。 ・アパートに対しての情報を、近くの自治会にできるだけ知らせる。 ・老人クラブの他自治会との交流を進める。 ・自治会運営のやり方を考える。 ・自治会ではなく、もっと専門的に動けるようにする。 ・自治会のサポート隊を結成する。 ・自治会の役員を年代別に無作為に決める！ ・集落単位で30代～50代のプロジェクトチームを結成する。 ・ゴミ出し巡回をする（ゴミ収集の人が回収していく）。 ・公民館などでどのようなサービスがあるかを説明する。 ・サービスを知ってもらう冊子を提供する。
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・暗いところ、通学路や県道から一本中に入った道等に街灯をつける、増やす。 ・登下校時間に合わせてウォーキングをする！！（防犯灯代わり）

グループ	対策アイデア 「理想と現実のギャップを見て対策を考えよう」
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光の災害対策をする。 ・地域のつながりを深める（自治会にこだわらず町内外）。 ・防災訓練を継続する。 ・水害対策を具体的に考えられるような事例を知らせる（台風19号を参考）。 ・保険の規約を確認する（水害に対して）。 ・防災士を集落に5名くらい配置する（取得者を増やす）。 ・被災地の見学会を行う（自治会の人に）。 ・災害の時に避難の仕方、対応などを家ごとに説明する（家ごとに説明してまわる）。 ・誰もが参加できる防災行事する（若い人も参加できる）。 ・現在の施設を有効活用する（学校などを避難場所として整備する）。 ・地域の人を知る機会を増やす。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・学校などで使われている情報共有メールの地域版をつくる。 ・行政主体の勉強会を実施（何度も）する。 ・町の情報をどんどん提供し、若者の就労を拡大する。 ・双方向の防災無線を設置する。ライン等SNSを活用する。 ・情報を整理（情報の氾濫）する。 ・信頼できる所からの情報発信（SNSは真実が分からない）に取り組む。
インフラ× 財政	<ul style="list-style-type: none"> ・財政（歳出）の一定額一定割合は修繕補修にあてる。 ・負の財産を残さない。撤去までの予算を計画する。 ・町をコンパクトにする。 ・ダムの補修をする。 ・税収に見合う事業を整理する。集中と選択の10年間にする。 ・公的施設を縮小や改修をすすめる。必要な施設を検討する。 ・コンクリートブロック塀の改修補助があることを周知する。+道幅を確保することの有効性
人口×若者 ×定住	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊ぶ場所を増やす（公園）。 ・働けるお母さんの支援の場所を増やす。 ・小中学校の教育内容を充実させる（英語教育等）。 ・保育料を2人目は無償にする。出産お祝い金を出す。 ・北栄町ならではの教育（北栄町でしかできないこと）に取り組む。 ・（法律の改正特区などを含め）住宅地を確保する。 ・自治体が県外からの移住体験ツアーを企画する。 ・地域交流できるイベントを開催する。

グループ	<p style="text-align: center;">対策アイデア</p> <p style="text-align: center;">「理想と現実のギャップを見て対策を考えよう」</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が地元に戻ってくるための施策をする。 ・夏休みを利用し農業体験をする。 ・国や県へ要望する。町独自の施策を実施する。 ・北栄町の情報発信をし、魅力をもっと知ってもらおう。 ・設備を整えれば暮らしやすい町として宣伝できる。 ・Iターン、Uターンを推進する。
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー対策として風車を活用する。 ・太陽光を使用した街灯を設置する。 ・太陽光発電（公民館）に設置し、集落内のLED化を進める。



第2次北栄町まちづくりビジョン

策定 令和2年9月発行 北栄町

編集 北栄町企画財政課

〒689-2292

鳥取県東伯郡北栄町由良宿423番地1

TEL (0858)37-5864 FAX(0858)37-5339

E-mail kikaku@e-hokuei.net

HP <http://www.e-hokuei.net/>